とっとり県民カレッジ講座（市町村連携）

地域を耕す「日常の関係」開催報告

令和８年９月２６日（土）13：00～16：30 米子市文化ホール　受講者数：４６名

とっとり県民カレッジ講座（市町村連携）を開催し、静岡県地域づくりアドバイザーの小田圭介さんを講師に迎えました。10 代から 70 代までの 46 名が参加し、小田さんの実践事例を聞き、その内容についてグループごとに感想を言い合いました。

冒頭、小田さんは「挨拶の前に、まず知り合う場をつくることが重要」「知り合いが増えれば増えるほど、地域の行事はおっくうではなくなる」と述べ、日々の暮らしの中で“顔と名前がわかる関係性”を少しずつ重ねていくことの重要性を強調しました。大掛かりなイベントよりも、日常の積み重ねが地域を支える土壌になると語りかけると、受講者は大きくうなずきながら耳を傾けていました。

会場からは「何か始めてみたくなった」といった声があり、終始熱気に包まれた講座となりました。



受講者とのコミュニケーションを深めながら講座を進める小田さん

実践事例「何にもしない合宿」「ババ抜き大会」「消防団クラブ」「つながる下校路」等、どれも気軽で続けやすい工夫ばかりです。とりわけ「何にもしない合宿」は 2012 年の開始から 107 回を重ねています。「無理をしないこと」、「やりたくない人は邪魔をしない」そして「口を出さない」という姿勢が、継続のカギになっています。

会場からの声

- 実践的な取組事例とその効果（影響）について学ぶことができた。
- 「問題解決」「課題解決」「悩みの解消」はもちろん大事だが、「楽しむ」「遊び心を使う」ことの重要さを改めて認識できた。
- とても刺激的で学びの多い内容に大満足でした。何かしてみたいとウズウズしています。ありがとうございました。

「つながりづくり」がすべてだと考えています。多くの気づき、学びを得られました。


自分たちの地域では何ができるか受講者同士で話し合う様子